

水稻の病害虫発生状況（6月）

1 葉いもち

(1) 6月の調査では、会津、浜通りの2地点3ほ場で補植用置苗に葉いもちを確認しました（表1）。

(2) 6月下旬における置苗の残存ほ場割合は平年より少ない状況でした（図1）。置苗でのいもち病発病ほ場割合はわずかでした。補植用置苗は葉いもちの発生源になるため、速やかに処分してください。

表1 補植用置苗での葉いもち初確認日（6月調査）

年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	平年
中通り	未確認	6/21	7/2	未確認	6/22	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	6/25
会津	未確認	6/20	未確認	6/20	6/8	未確認	6/21	6/11	未確認	未確認	6/17	6/16
浜通り	6/6	6/15	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	未確認	6/12	6/15	6/11

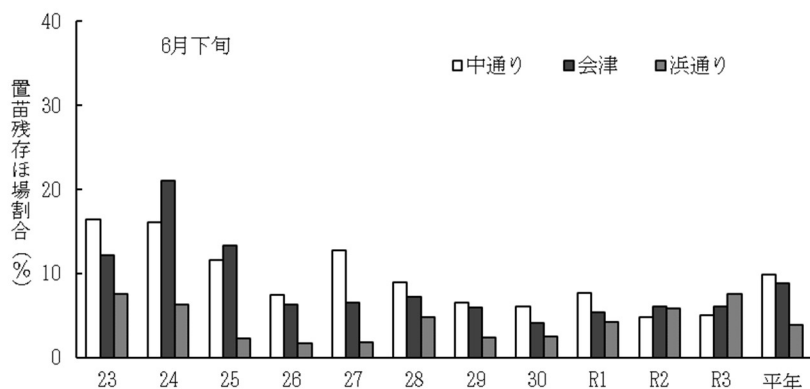


図1 補植用置苗の残存状況（6月下旬調査）

注）本年度の調査ほ場数は、中通り 15 地点 298 ほ場、会津 10 地点 212 ほ場、浜通り 6 地点 133 ほ場

2 イネミズゾウムシ

6月上旬調査では、発生ほ場割合は全県で平年より高く、被害程度が高いほ場も見られました（図3）。

6月下旬調査では、上位葉での被害が少なくなり平年並みの発生になりました（図4）。

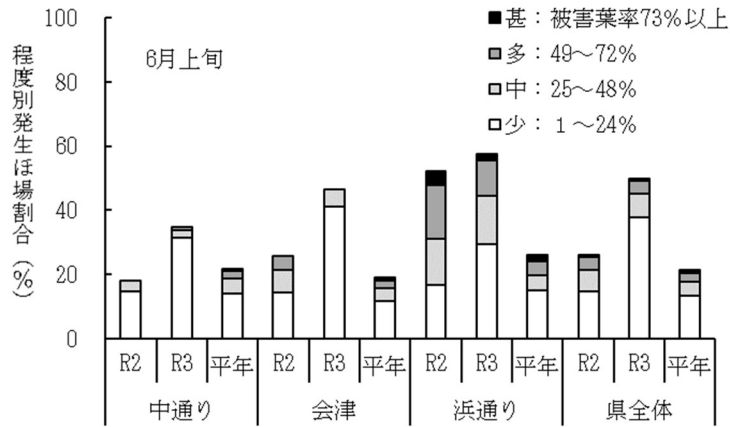


図3 イネミズゾウムシの被害程度別発生ほ場割合（6月上旬）

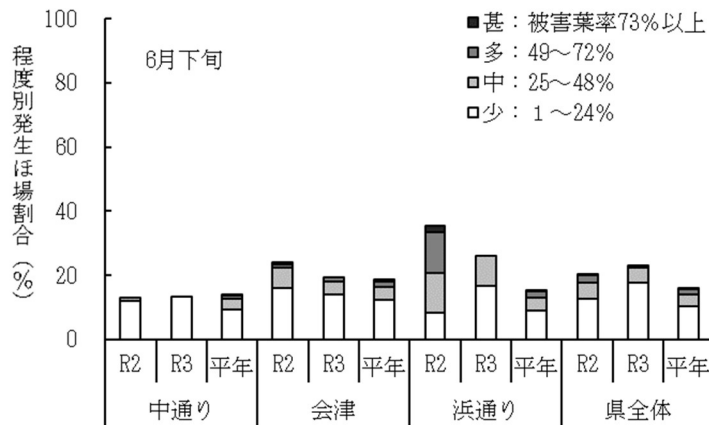


図4 イネミズゾウムシの被害程度別発生ほ場割合（6月下旬）

3 イネヒメハモグリバエ

6月上旬調査では、全域で被害程度「少」以上の発生が見られませんでした（図5）。6月下旬調査では、発生ほ場割合は中通りでわずかに見られたものの、浜通り・会津で被害程度「少」以上の発生は平年より少なくなりました（図6）。

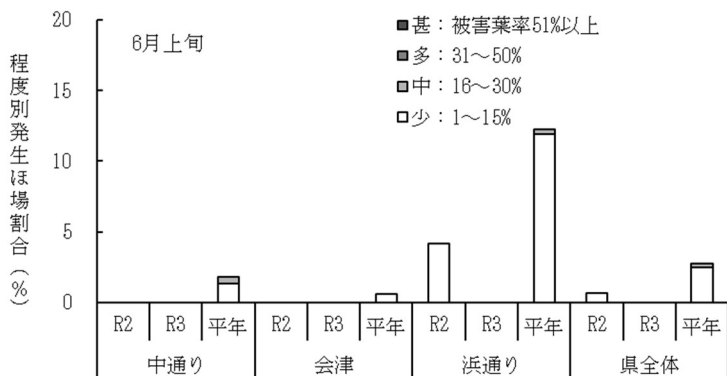


図5 イネヒメハモグリバエの被害程度別発生ほ場割合（6月上旬）

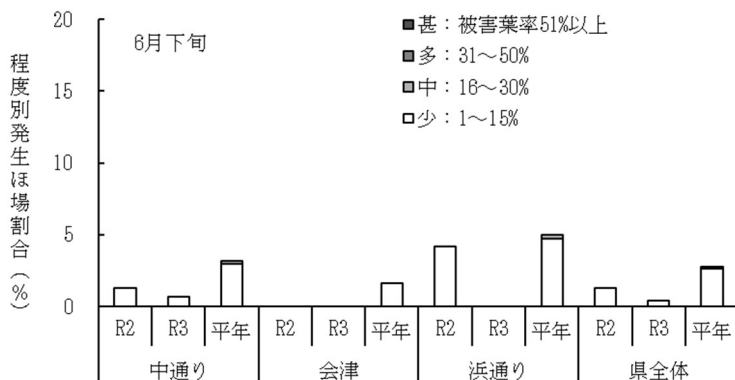


図6 イネヒメハモグリバエの被害程度別発生ほ場割合（6月下旬）

4 イネドロオイムシ

6月下旬調査において、中通り各地で被害程度の高いほ場が見られ平年より多い発生でした。会津、浜通りでは平年並の発生でした（図7）。

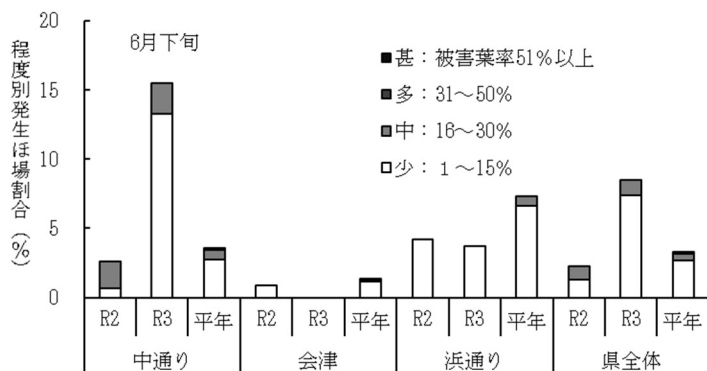


図7 イネドロオイムシの被害程度別発生ほ場割合（6月下旬）

5 イナゴ類

6月下旬調査では、県内多くのほ場で平年並に幼虫の被害及び飛込の発生が確認されました（図8）。すくい取り調査では、県全体で平年よりやや少ない地点割合でした（図9）。

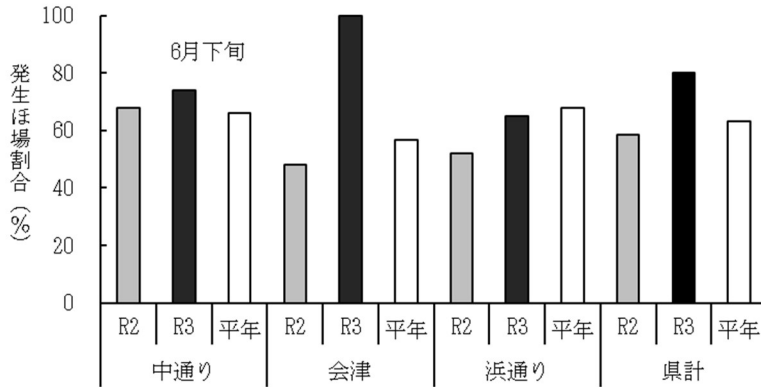


図8 イナゴ類幼虫の発生ほ場割合（6月下旬）

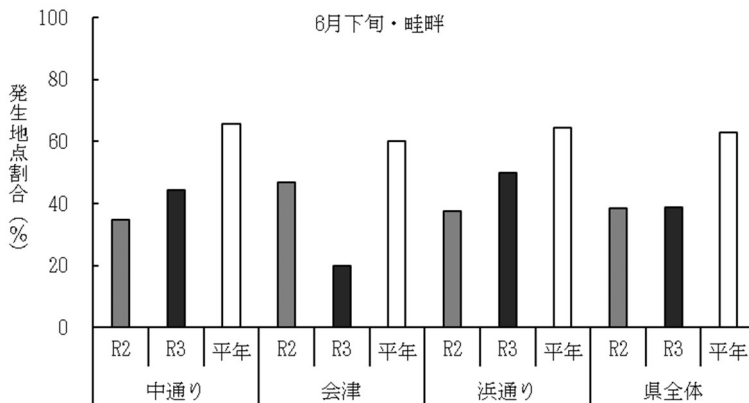


図9 イナゴ類幼虫のすくい取り地点割合（6月下旬）

6 斑点米カメムシ類

- 6月下旬の畦畔すくい取り調査では、発生地点割合は平年並でした（図10）。
- 主な種類は県全体でアカスジカスミカメとホソハリカメムシが多く捕獲されました（図11）。

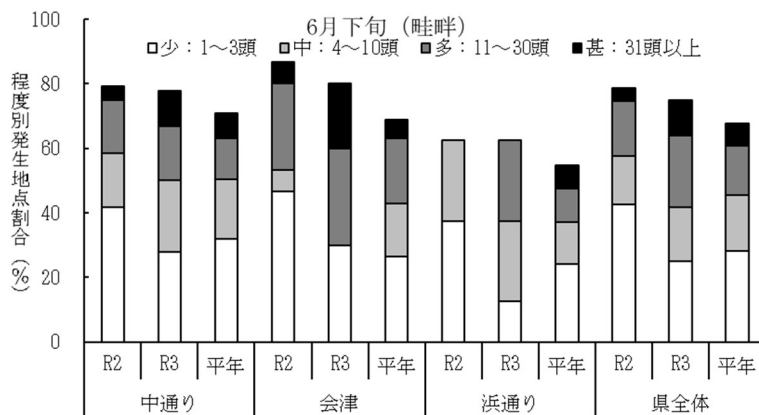


図10 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の程度別発生地点割合（6月下旬）

注) 地点数…中通り 18、会津 10、浜通り 8

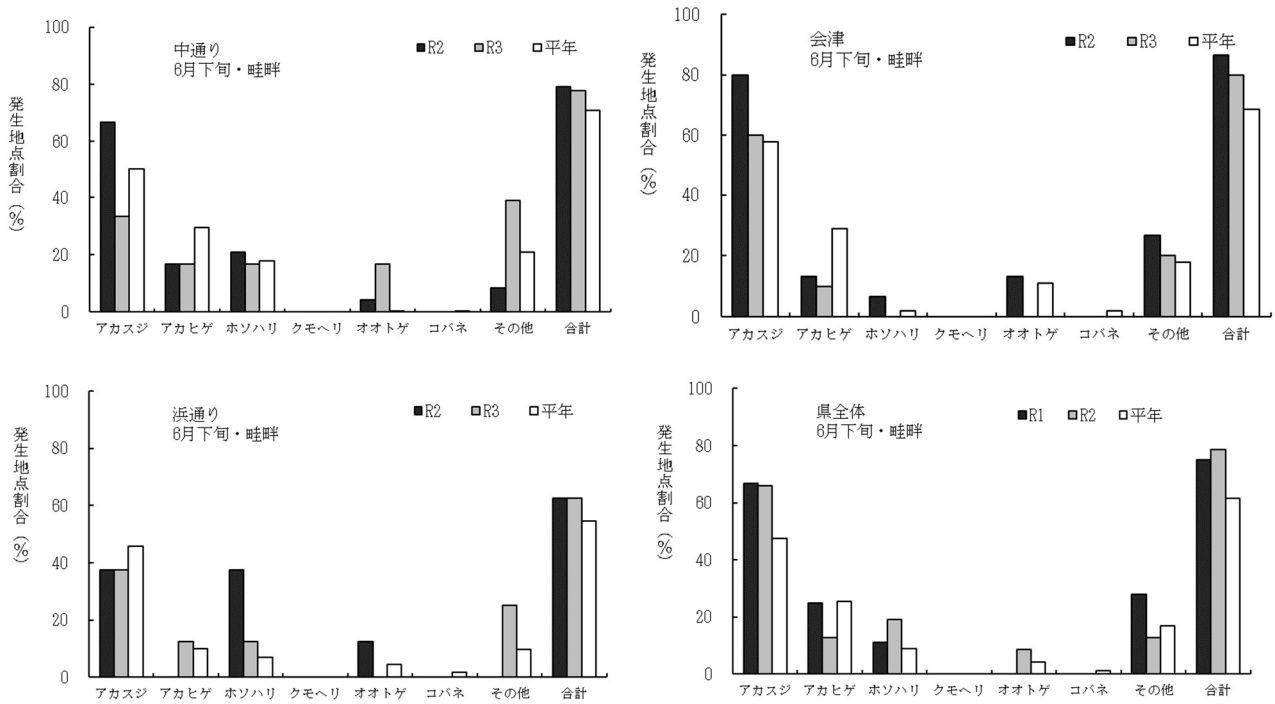


図 11 畦畔雑草における斑点米カメムシ類の加害種別のすくい取り数（6月下旬）

注）地点数中通り 19、会津 9、浜通り 8

（アカスジ：アカスジカスミカメ、アカヒゲ：アカヒゲホソミドリカスミカメ、ホソハリ：ホソハリカメムシ、

クモヘリ：クモヘリカメムシ、オオトゲ：オオトゲシラホシカメムシ、コバネ：コバネヒョウタンナガカメムシ、の略）